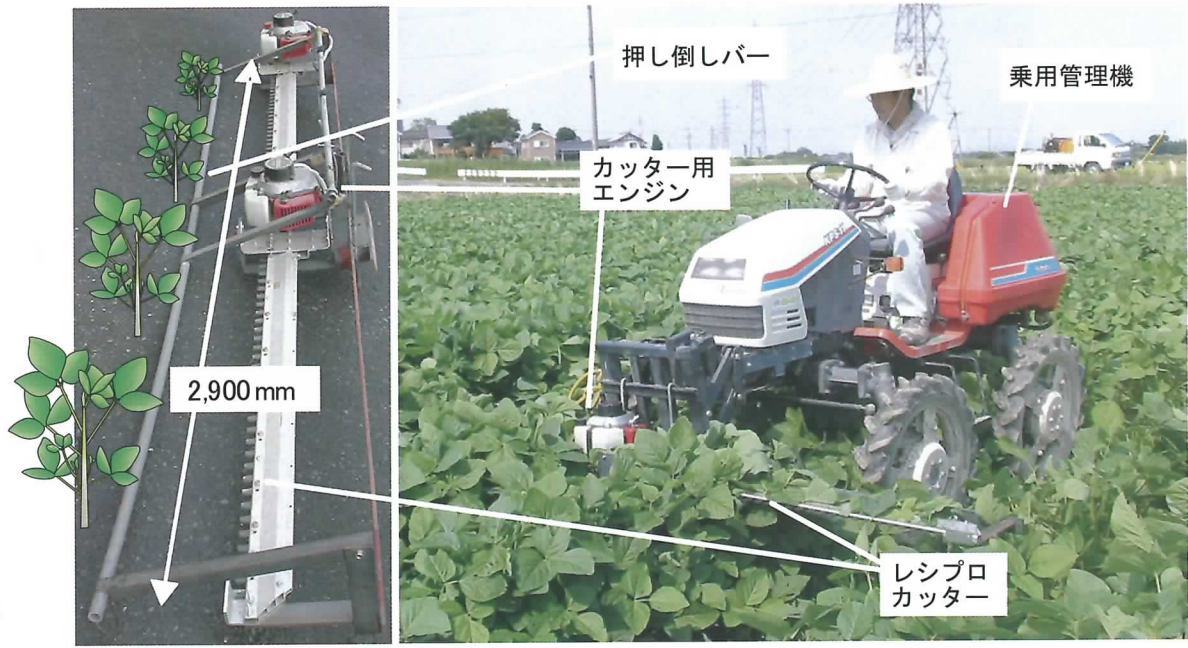




ダイズの高効率摘芯作業機の開発



摘芯作業機（試作機）



摘芯後のダイズほ場

西三河沖積地帯のダイズは、栄養生長が旺盛で徒長しやすく、倒伏が大きな低収要因となっています。そこで、過剰な生育を抑制する「摘芯」を簡易に行える作業機を開発しました。

この作業機を用いて茎の先端を切り詰める摘芯処理を行ったところ、草丈

は低く、倒伏の程度も小さくなりました。また、莢数や収量が増える傾向があることもわかりました。

刈り高さは45～70cmまで調節でき、条間70cmほ場で毎時0.85haを摘芯できます。西三河沖積地帯におけるダイズ生産の切り札として期待されます。

(作物研究部)